

英文法問題集プリント(解説) No. 1 【be動詞(現在形①)】

■次の英文を()内の指示にしたがって書きかえなさい。

- (1) I am Ken. (下線部を You にかえた文に)
下線部のIは主語。主語をIからYouにかえると、be動詞のamがareに変わるので
You are Ken. となります。
- (2) I am Ken. (主語を He にかえた文に)
主語のIをHeにかえると、be動詞のamがisに変わるので**He is Ken.** となります。

I am, You are, それ以外(の主語)はis、と5回ぐらいつぶやいておきましょう！
- (3) I am Yumi. (下線部を 1 語にかえた文に)
Iとamを1語にするとI'mになるので**I'm Yumi.** となります。
- (4) I am Yumi. (否定文に)
与えられた文の中にbe動詞のamがあるので、後ろにnotを書いて**I am not Yumi.**
となります。
- (5) You are a student. (否定文に)
与えられた文の中にbe動詞のareがあるので、後ろにnotを書いて
You are not a student. となります。areとnotを短縮してaren'tにしてもOKです。
- (6) This is my bag. (否定文に)
与えられた文の中にbe動詞のisがあるので、後ろにnotを書いて
This is not my bag. となります。isとnotを短縮してisn'tにしてもOKです。
- (7) You are from Kyoto. (疑問文にして Yes で答えなさい)
与えられた文の中にbe動詞のareがあるので、主語のYouとareをヒックリ返して
Are you from Kyoto? で疑問文となります。

また、「**あなたは**～ですか。」と聞かれた場合、Yesで答える時には「はい、**私は**～
です。」と答えることになるので、主語のyouをIにかえて**Yes, I am.** となります。

- (8) He is a teacher. (疑問文にして No で答えなさい)

与えられた文の中にbe動詞のisがあるので、主語のHeとisをヒックリ返して
Is he a teacher? で疑問文となります。

また、「**彼は**～ですか。」と聞かれた場合、Noで答える時には「いいえ、**彼は**～
ではありません。」と否定文で答えることになるので、**No, he isn't.** となります。

- (9) Is this a dog? (Yes を使った答えの文に)

「**これは**～ですか。」と聞かれた場合、Yesで答える時には「はい、**それは**～です。」
と答えることになるので、主語のthisをitにかえて**Yes, it is.** となります。

- (10) Is that your house? (No を使った答えの文に)

「**あれは**～ですか。」と聞かれた場合、Noで答える時には「いいえ、**それは**～
ではありません。」と否定文で答えることになるので、主語のthisをitにかえて
No, it isn't. となります。

疑問文で使われる主語のthisやthatは、YesやNoの答えの文ではitにかえる！

英文法問題集プリント(解説) No.2 【一般動詞(現在形①)】

1. 次の英文を()内の指示にしたがって書きかえなさい。

- (1) I want a bike. (否定文に)
与えられた文の中にbe動詞がないので、動詞wantの前に隠れているdoの登場です。doの後ろにnotを書いて**I don't want a bike.** となります。doとnotを短縮してdon'tとしてもOKです。
- (2) You have a dog. (疑問文にして No で答えなさい)
与えられた文の中にbe動詞がないので、動詞haveの前に隠れているdoの登場です。主語のYouとdoをヒックリ返して**Do you have a dog?** で疑問文となります。
- また、「あなたは～(し)ますか。」と聞かれた場合、Noで答える時には、「いいえ、私は～(し)ません。」と否定文で答えることになるので、主語のyouをIにかえて**No, I don't.** となります。

2. 次の日本文にあう英文になるように、()内の語(句)を並べかえなさい。

- (1) あなたは英語を話します。(you, English, speak).
英語では、主語のすぐ後ろに動詞を書くので、「あなたは 話します 英語を」と並べることになります。**You speak English.**
- (2) 私はピアノをひきます。(play, I, the piano).
「私は ひきます ピアノを」と並べて**I play the piano.** となります。
- (3) あなたはテニスがとても好きです。(tennis, very much, like, you).
与えられた文は、「～です」となっていますが、be動詞はありませんね。likeは「好きです」と訳される一般動詞なのです。
- また、一般動詞の後ろには「～を」と訳される言葉を書くことが多いのですが、likeの後ろに書く言葉は「～が」と訳されることも覚えておきましょう。
- 「あなたは 好きです テニスが とても」と並べて**You like tennis very much.** となります。
- (4) 私はかばんの中に本を持っています。(in my bag, I, a book, have).
「私は 持っています 本を かばんの中に」と並べて**I have a book in my bag.** となります。

- (5) 私は毎日英語を勉強します。(I, every day, English, study).
「私は 勉強します 英語を 毎日」と並べてI study English every day. となります。
- (6) あなたはよく寿司を食べます。(you, sushi, eat, often).
「よく」や「しばしば」と訳される、oftenという単語を書く場所を知っているかが問われている問題です。

be動詞を使った文では“**be動詞 often**”、
一般動詞を使った文では“**often 一般動詞**”

となるので、しっかりと覚えておきましょう！

与えられた文は「あなたは よく 食べます 寿司を」と並べて
You often eat sushi. となります。

- (7) あなたは松井さんを知っていますか。(Mr. Matsui, know, you, do)?
「あなたは 知っています 松井さんを」という文の前に、疑問文を作る単語Doを書いてDo you know Mr. Matsui? となります。
- (8) 私はそのコンピュータを使いません。(don't, I, the computer, use).
「私は 使います そのコンピュータを」という文の動詞のuseの前に否定文を作るdon'tを書いてI don't use the computer. となります。

英文法問題集プリント(解説) No. 1 1 【一般動詞の過去形①(規則動詞)】

1. 次の動詞の過去形を書きなさい。

- (1) watch (watched) (2) play (played) (3) use (used)
※eで終わる動詞にはdだけをつける
- (4) study (studied) (5) live (lived) (6) stop (stopped)
※子音+yで終わる動詞はyをiにかえて ※(3)と同じ ※stopにはpedをつける
edをつける

2. 次の英文を()内の指示にしたがって書きかえなさい。

- (1) I play baseball. (yesterday を加えた文に)
yesterday(きのう)を文の最後に加えると、過去の文になるので動詞のplayを過去形のplayedにかえて**I played baseball yesterday.** となります。
- (2) Ken plays baseball. (yesterday を加えた文に)
これも過去の文になるのですが、3単現のsがついた動詞はsを取ってedをつけるので、動詞のplaysをplayedにかえて**Ken played baseball yesterday.** となります。
- (3) You study English. (last Sunday を加えた文に)
last ~ (この前の~) も過去の時を表す言葉なので、文の最後に加えて過去の文に書きかえることとなります。動詞のstudyを過去形のstudiedにかえて**You studied English last Sunday.** となります。
※studiedのつづりに注意してください！



yesterday, last ~, ~ agoなどの時を表す言葉は文の最後に書くよ！

- (4) She used a computer last night. (否定文に)
与えられた文の中にbe動詞もcanもないので、動詞usedの前に隠れているdoが登場するのですが、doには、動詞からedを取ってdidという形になって否定文を作るという性格(ドスケベ)がありましたね。よって、didの後ろにnotを書いて**She did not use a computer last night.** となります。didとnotを短縮してdidn'tにしてもOKです。

- (5) Yumi lived in Yokohama ten years ago. (疑問文にして No で答えなさい)
与えられた文の中にbe動詞もcanもないので、動詞livedの前に隠れているdoが登場します。動詞のlivedにはedがついているので、doはdidになって疑問文を作ります。主語のYumiとdidをヒックリ返して

Did Yumi live in Yokohama ten years ago? となります。

Didで始まる疑問文にNoで答える時には、No, ~ didn't. と答えるのでしたね。また、Yes・Noの答えの文の主語は代名詞を使うので、疑問文の主語YumiをsheにかえてNo, she didn't. となります。

- (6) Does Ms. Watanabe help you? (過去の文に)
与えられた文は疑問文ですから、過去の疑問文を作ることになります。過去の疑問文は、隠れた助動詞doが動詞からedを取りdidになって作るので
Did Ms. Watanabe help you? となります。

- (7) I don't want a dog. (過去の文に)
与えられた文は否定文ですから、過去の否定文を作ることになります。過去の否定文は、隠れた助動詞doが動詞からedを取りdidになって作るので
I didn't want a dog. となります。

3. 次の英文の()内から適するものを選び○でかこみなさい。

- (1) Takuya (help, helps, **helped**) me last Friday.
文の終わりの方に過去の時を表すlast ~があるので、helpedを選びます。
- (2) Shun didn't (**watch**, watches, watched) TV yesterday.
文の終わりに過去の時を表すyesterdayがあるので、与えられた文は過去の否定文です。過去の文では、隠れた助動詞のdoが、動詞からedを取りdidn'tになって否定文を作るので、ハダカ(原形)のwatchを選びます。
- (3) (Does, **Did**, Do) he visit Sendai three days ago?
文の終わりの方に過去の時を表す~ agoがあるので、与えられた文は過去の疑問文です。過去の文では、隠れた助動詞のdoが、動詞からedを取ってdidになって疑問文を作ります。
- (4) Yuka (don't, doesn't, **didn't**) listen to music last night.
文の終わりの方に過去の時を表すlast ~があるので、与えられた文は過去の文です。過去の文では、隠れた助動詞のdoが、動詞からedを取りdidn'tになって否定文を作ります。

英文法問題集プリント(解説) No. 1 3 【be動詞(過去形①)】

1. 次の英文を()内の指示にしたがって書きかえなさい。

- (1) I am busy. (yesterday を加えた文に)
yesterday(きのう)を文の最後に加えると、過去の文になるのでbe動詞のamを過去形のwasにかえて**I was busy yesterday.** となります。
- (2) Ken is in Miyazaki. (last year を加えた文に)
last ~ (この前の~)を文の最後に加えると、過去の文になるのでbe動詞のisを過去形のwasにかえて**Ken was in Miyazaki last year.** となります。
- (3) We are happy. (five years ago を加えた文に)
~ago(~前)を文の最後に加えると、過去の文になるのでbe動詞のareを過去形のwereにかえて**We were happy five years ago.** となります。



yesterday, last ~, ~ agoなどの時を表す言葉は文の最後に書くよ!

- (4) He was very hungry. (否定文に)
与えられた文の中にbe動詞のwasがあるので、後ろにnotを書いて
He was not very hungry. となります。wasとnotを短縮してwasn'tにしてもOKです。
- (5) They were kind to me. (否定文に)
与えられた文の中にbe動詞のwereがあるので、後ろにnotを書いて
They were not kind to me. となります。wereとnotを短縮してweren'tにしてもOKです。
- (6) You were at home yesterday. (疑問文にして Yes で答えなさい)
与えられた文の中にbe動詞のwereがあるので、主語のYouとwereをヒックリ返して
Were you at home yesterday? で疑問文となります。

また、「**あなたは**~いましたか。」と聞かれた場合、Yesで答える時には「はい、**私は**~いました。」と答えることになるので、主語のyouをIにかえて**Yes, I was.** となります。
※ここでの were は「~でした」ではなく、「~いました」という意味で使われています。
- (7) She was a student last year. (疑問文にして No で答えなさい)
与えられた文の中にbe動詞のwasがあるので、主語のSheとwasをヒックリ返して
Was she a student last year? で疑問文となります。

また、「**彼女は**～でしたか。」と聞かれた場合、Noで答える時には「いいえ、**彼女は**～ではありませんでした。」と否定文で答えることになるので、**No, she wasn't.** となります。

2. 次の英文の()にwasとwereのうち適する方を書きなさい。

- (1) We (**were**) in Kobe last Friday.
主語のWe(私たちは)は複数形の代名詞なので、wereを入れます。
- (2) It (**was**) very cold last night.
主語のIt(それは)は単数形の代名詞なので、wasを入れます。
※「寒かった。」や「暑かった。」という内容を表す文は、It was~と始めますが、このItは日本語には訳しません。
- (3) (**Was**) Yumi thirteen years old last year?
主語のYumi(ユミ)は単数形の名詞なので、Wasを入れます。
- (4) The cats (**were**) under the bed.
主語のThe catsは、複数形のパターンの s になっているので、wereを入れます。
- (5) He (**was**) a good baseball player.
主語のHe(彼は)は単数形の代名詞なので、wasを入れます。
- (6) (**Were**) you very busy yesterday?
主語のyouには、「あなたは」だけでなく、「あなたたちは」という複数形の意味もあるので、主語が複数形の時と同じWereを入れます。



youは1人の場合(単数)でも。複数形扱いをするよ！

- (7) I (**was**) not a high school student two years ago.
主語のI(私は)は単数形の代名詞なので、wasを入れます。
- (8) They (**were**) not in the park.
主語のThey(彼らは[彼女らは])は複数形の代名詞なので、wereを入れます。



be動詞の現在形は、主語が単数形の場合、amとisの2種類のものを使い分けたけど、be動詞の過去形は、主語が単数形の場合にはwasだけになる！

英文法問題集プリント(解説) No.26 【現在完了①】

■次の日本語にあう英文になるように、()内の語(句)を並べかえなさい。

- (1) 私は5年間ずっと神戸に住んでいます。(I, years, five, have, for, Kobe, in, lived).
「私は ずっと住んでいます 神戸に 5年間」と並べて
I have lived in Kobe for five years. となります。
※「have 過去分詞」(= 現在完了形)で、「(ずっと)～しています」という内容を表すことがあります。
- (2) 彼は昨日からずっといそがしい。(has, busy, yesterday, he, since, been).
「彼は ずっといそがしい 昨日から」と並べて
He has been busy since yesterday. となります。
※「ずっと～い(です)。」という場合には、「have been 「～い」と訳す単語」となります。
形容詞
- (3) あなたは今までにこの映画を見たことがありますか。(this movie, have, ever, you, seen)?
「あなたは 今までに見たことがあります この映画を」という文、
You have ever seen this movie. の主語のYouとhaveをヒックリ返して
Have you ever seen this movie? となります。
※現在完了形は、「～したことがあります」という内容を表すこともあります。また、現在完了形が使われている文の疑問文は、Have 主語 過去分詞 ～?となります。
- (4) 彼女は1度も札幌を訪れたことはありません。(never, Sapporo, has, visited, she).
「彼女は 1度も訪れたことはありません 札幌を」と並べて
She has never visited Sapporo. となります。
※「～したことがありません。」は「～したことがあります」という文の否定文ですが、
「**1度も～したことがありません**」という場合は、not(～ません)より否定の意味が強いnever
(1度も～ません)という単語を使って「**have never 過去分詞**」となります。
- (5) 私はちょうど夕食を食べたところです。(I, eaten, just, have, lunch).
「私は ちょうど食べたところです 夕食を」と並べて**I have just eaten lunch.**
となります。
※現在完了形は、「～したところです」という内容を表すこともあります。その場合、just
(ちょうど)を加えて、「have just 過去分詞」という形がよく使われます。

- (6) ケンはもう宿題を終えました。(finished, Ken, his homework, has, already).
「ケンは もう終えました 宿題を」と並べて
Ken has already finished his homework. となります。
※現在完了形は、「～しました」や「～してしまいました」という内容を表すことがあります。その場合、already(もう)を加えて、「have already 過去分詞」という形でよく使われます。
- (7) あなたはもうその本を読んできましたか。(read, have, yet, the book, you)?
「あなたは もう読んできましたか その本を」という文、
You have already read the book. の主語とhaveをヒックリ返して
Have you read the book yet? となります。
※「もう～(し)てしまいました」は、「have already 過去分詞」ですが、疑問文では、alreadyをyetにかえて「Have 主語 過去分詞～yet?」となります。
- (8) 私はまだ手紙を書いていません。(a letter, written, I, yet, haven't).
「私は 書いていません 手紙を まだ」と並べて
I haven't written a letter yet. となります。
※「もう～してしまいました」という内容を表す「have already 過去分詞」を否定文にしたものです。alreadyは疑問文だけでなく、否定文でもyetにかえて「haven't 過去分詞 ~ yet.」と使います。また、訳し方が「まだ～(し)ていません」と現在進行形っぽくなっているのに注意してください。「今、書いていない」のではなく、「過去から今まで書いていない」状況が続いていることを表します。
- (9) あなたはどのくらい英語を勉強しているのですか。(studied, English, long, you, how, have)?
「あなたは 勉強しているのですか 英語を どのくらい」という文、
You have studied English how long. の主語とhaveをヒックリ返し、how longを1番前にピョーンと飛び出させて**How long have you studied English?** となります。
※「勉強しているのですか」だけを見ると現在進行形の疑問文という感じがしますが、「今(だけ)、勉強しているのか」と聞いているのではなく、「どのくらい勉強しているのか」と「過去から今までの勉強している期間」を聞いているので、現在完了形を使うことになります。
- (10) 私は2回大阪へ行ったことがあります。(I, to, have, twice, Osaka, been).
「私は 行ったことがあります 大阪へ 2回」と並べて
I have been to Osaka twice. となります。
※「～へ行ったことがあります」は、goの現在完了形ではなく、be動詞の現在完了形を使って「have been to ~」というので注意しましょう。ちなみに、「have gone to ~」は、「～へ行ってしまいました(今は、ここにはいません)」という意味を表します。